

平成 28 年度 事業報告

- ◆ 賛助会員数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)
法人会員 200 社、359 口 (前年度比 +21 社、+51 口)
- ◆ 来館者数 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)
12,317 名 [大人 9,408 名 子供 2,909 名]
(前年度比+169 名 [大人+695 名 子供-526 名])
※ 累計来館者数 100,093 名 [大人 78,280 名 子供 21,813 名]

1. 公益目的事業

(1) 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

- ① ロボトンゴ設置 (博物館入口)
- ② 賛助会員企業展示コーナー新設

(2) 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

- ① 定期発行誌「木と合板」(年 3 回)
33 号：特集「恵みの山を、活かし、育て、護り続ける」
34 号：特集「復興五輪へ向けて福島復興プロジェクト」
35 号：特集「木質バイオマスと国産材自給率 50%への道」

- ② 第 8 回「木と合板」写真コンテスト

応募期間：平成 28 年 7 月 1 日 (金)～8 月 31 日 (水)

結果発表：平成 28 年 10 月 30 日 (日)

昨年に引き続き特別審査員としてプロカメラマン吉田繁氏に依頼、協賛を募った。

応募作品数：課題の部 90 作品、建材の部 125 作品、

フォト 5・7・5 の部 61 作品

応募総数 276 作品 (前年度比 -24 作品)

協賛企業・団体：48 社 55 口 (前年度比-5 社、-4 口)

- ③ クリスマスツリー植林祭

開催日：平成 28 年 5 月 24 日 (日)

場 所：イコロの森 (北海道苫小牧市)

参加者：113 名 (前年度比-20 名)

- ④ 第 4 回「合板の日」記念式典 (日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業)

・平成 28 年 11 月 14 日 (月) に開催。合板業界に多大なる貢献をされた人物の表彰。

林野庁長官賞受賞者：JK ホールディングス株式会社 名誉会長 吉田繁氏

参加人数：251 名

ご来賓： 林野庁長官 今井敏氏、
東京都労働産業労働局農林水産部長 藤田聡氏

- ・講演会「国産材業界の現状と今後」
活木活木（いきいき）森ネットワーク理事長 遠藤日雄氏
- ・第4回全国合板一枚・作品コンペ受賞作品の紹介

⑤ セミナー、シンポジウムの開催

- ・セミナー「福島県認証材の国際競技施設への活用に向けて」
日時：平成28年9月29日（木）13:30～16:00
場所：ビッグパレットふくしま 中会議室A
講師：宗形芳明氏（福島県木材協同組合連合会）他
- ・セミナー「福島県森林・林業復興へ向けた取組と復興五輪への期待」
日時：平成29年2月1日（水）13:30～16:40
場所：新木場タワー1階大ホール
講師：吉田聡氏（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）
宗形芳明氏（福島県木材協同組合連合会）
- ・シンポジウム「中高層・大規模建築物への内装木質化をデザインで解決」
日時：平成29年3月8日（水）13:30～16:30
場所：新木場タワー1階大ホール
講師：澤山乃莉子氏（NSDA ロンドンインテリアデザインオフィス代表）
安井昇氏（桜設計集団一級建築士事務所代表）

⑥ 団体見学の受け入れ

（教育機関）

- ・江東区内の小学校20校（全校45校の内）・江東区教育委員会小学校担当教諭
- ・武南中学校 ・都立武蔵村山高校教諭 ・横浜市立釜利谷中学校2年生
- ・松戸市立第二中学校 ・神奈川県立向の丘工業高等学校 ・東洋大学
- ・長崎県立諫早農業高校 ・東京農業大学造林学研究室 ・城北中学校高等学校
- ・ニュージーランドの学生（王子木材(株)様のお客様） ・さいたま桜高等学園
- ・東京都立あきる野学園 ・立教大学 ・日本大学建築学科 ・日本大学生物資源科学部
- ・駒沢女子大学住空間デザイン学科 ・東海大学建築学科 ・東京都市大学
- ・女子美術大学デザイン工芸学科 ・中央工学校建築系 ・立教大学インターンシップ
- ・東京テクニカルカレッジインテリア科 ・東京デザイナー学院プロダクト科

（その他団体等）

- ・山本農林水産大臣ご一行 ・林野庁森林技術総合研修所 ・林野庁国有林野部、
森林整備部森林利用課 ・東京都庁 ・WWF ジャパン、マレーシア団体
- ・ベラルーシ大使館ご一行 ・坂井森林組合 ・ピアノ調律師協会 ・森林振興財団

- ・岡崎森林組合 北見市長ご一行 ・奈良県庁 ・東京都庁森林課 ・オイスカ
- ・福島県中林業協会 ・南会津森林認証協推進議会 ・オスマン サンコン講演会
- ・東京木材青年クラブ「青年社員講習会」 ・日本ツーバーフォーランバーJAS 協議会
- ・その他 学童クラブ／福祉施設／森林組合／協同組合／設計事務所や職業訓練校／ウォーキングサークル等多数来館 (敬称略)

⑦ ワークショップ

- ・いつでも工作体験の実施
木の動物作り、木のしおり作り、木のプレート作り、ウッドバーニング体験、キーホルダー作り
- ・夏休み木工教室の開催 (参加者合計 61 名)
「ジグソーパズルをつくろう！」[7/23 (土)、7/30 (土)]
「コリントゲームをつくろう！」[8/6 (土)、8/20 (土)]
- ・夏休み合板・LVL 工場見学ツアー開催 (参加者 24 名)
7 月 22 日 (金) 株式会社キーテック 木更津工場見学、端材を使った工作体験
- ・「子どもゆめ基金」助成を受けての木工教室の開催 (参加者 子供 61 名、大人 66 名)
平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月 全 9 回開催
- ・出前工作
パルテノン多摩、江東区夏休み子供工房 (江東区文化センター)、第五砂町小学校 & オイスカ

⑧ 博物館の広報・PR 活動

- ・SNS による情報発信
各種イベント、博物館キャラクター「Go-kun」ゆるキャラグランプリ 2016 出場
ウッドデザイン賞 2016 受賞「クリスマスツリー植林」 他
- ・取材要請対応
ふれあいの窓 (東京都交通局の広報誌)
- ・広告掲載
まっふる「家族でおでかけ夏休み号 2016 年版」、日本教育新聞、
日刊木材新聞 (合板の日)、ふれあいの窓 (東京都交通局の広報誌)、
東京散策乗り物ガイド (中学校、高校向け)、理科教育ニュース (少年写真新聞社)
- ・展示会への出展
江東子どもまつり、木と暮らしのふれあい展、江東湾岸まつり、JK フェア 等
- ・林野庁 7 階中央展示室において、ポスター等 PR 展示 (平成 28 年 8 月)

(3) 奨学・育英及び助成事業 (給付型)

平成 28 年 12 月に内閣府公益認定等委員会より新規事業としての認定を受けた「奨学・育英事業および研究発表助成事業」の内、本年度は「研究発表助成事業」のみの実施となった。

・研究発表助成事業

目的：日本森林学会ならびに日本木材学会の学会大会での研究発表が本助成によって可能もしくは容易となる若手・中堅研究者に対し、参加登録費、旅費ならびに宿泊費の一部を給付して発表を促し、斯学の発展に資する。

対象：上記両学会の45歳以下の正会員で、学会大会で筆頭者として研究発表を行う者。

人数および金額：日本森林学会 12名 648,348円

日本木材学会 9名 617,400円

21名 1,265,748円

2. 収益事業

① ウッドマスター講習会

・基礎講座 期間：平成28年4月12日（火）～16日（土）

受講人数：一般57名 ジャパン建材51名 合計108名(前年度比-14名)

【講習】地球温暖化防止と森林の果たす役割、樹木と木材の性質、木材需給と貿易に関する基礎知識、木質建材の基礎知識、これからの木造建築、林業の基礎知識、木材流通の仕組み

【実習】工場見学（合板・LVL、プレカット）、林地見学、木材による樹種識別実習

・中級講座 期間：平成28年10月11日（火）

「合板について学んでみよう」シリーズ① 受講人数：21名

【講習】国産針葉樹材を用いた合板の基礎知識、木材害虫と腐朽の基礎知識

・中級講座 期間：平成29年2月25日（土）～31日（日）

「樹種識別を学んでみよう」 受講人数：7名（前年度比-3名）

【講習】針葉樹の組織、木材の材質1・2、広葉樹の組織、樹種の材質特性

【実習】針葉樹材の樹脂道と樹脂細胞、針葉樹材仮道管のらせん肥厚、針葉樹材の分野壁孔と放射仮道管、広葉樹材道管と柔組織の配列、広葉樹材道管のせん孔とらせん肥厚、広葉樹材の放射組織、樹種識別の実際（17種）

② クリスマスツリー苗木販売

販売期間：平成28年10月1日（土）～11月30日（水）

出荷数：201鉢（前年度比-14鉢） 協賛企業：45社（前年度比-10社）

③ ショップ販売

・「内装木質化ハンドブック」の販売（価格：2,000円+税）

販売方法：Net（コンフィル）販売、及びミュージアムショップにて販売

販売総数：113冊（前年度比-192冊）

- ・新商品の仕入・販売

今年度新商品：パズル（自転車、ウサギ）、工作キット（スプーン、フォーク、木琴、ブックスタンド、木の動物、車と車庫）

収入：511,528 円（前年度比 -71,944 円）

- ・自動販売機による飲料の販売、コピー機利用による収入

収入：15,172 円（前年度比 -10,490 円）

以上